

◆行財政改革特別委員会(11月20・21日) 視察先／市川市・横浜市



横浜市での視察の様子

市川市の改革推進体制は、行政主体の体制に市民との協働による体制も加え、市民参加型とし、行財政改革審議会を設置して、市長から諮問のあった事項について調査・審議し答申を行うとともに、必要があれば建議することにより行政改革を推進されていました。

横浜市では、改革を真に実効性のあるものにするため、全国の自治体でも初めてのアントレプレナーシップ(旺盛な起業家精神のこと)事業制度や局区横断課題解決案作成チームの活用など、職員一人ひとりの改革意欲を引き出す手法を通じて行政改革に挑戦されていました。

特別委員会の視察報告

◆都市整備特別委員会(11月20・21日) 視察先／足立区・練馬区

それぞれの市街地再開発事業について調査しました。足立区の竹ノ塚駅西口南地区は、駅利用者の急増により駅前広場や道路の整備が強く望まれていた中で、再開発準備組合設立から16年を経て完了した事業でした。

練馬区の大泉学園駅前地区は、再開発計画協議会発足から17年後に完了し、駅前広場などの都市基盤整備とともに、公共駐車場、総合福祉事務所、大泉学園ホールなどの施設が整備された公共性の高い事業でした。

両事業とも、地域拠点にふさわしいまちづくりの顔となっていることを実感しました。



大泉学園駅前広場を視察

◆競馬事業特別委員会

(11月20・21日)

視察先／埼玉県浦和競馬組合
地方競馬全国協会

浦和競馬場は、場内への企業広告掲示や観光、商業等と連携したレースの開催など民間活力の活用を図りながら、本市と競馬人口に大きな差はあるものの、収支は約2億8000万円の赤字で推移している状況でした。



開催の様子を視察(浦和競馬場)

地方競馬全国協会では、地方競馬の現状と課題について調査し、さらなる主催者間の連携や民間活力の導入による運営効率化の必要性を再認識しました。地域に親しまれる福山競馬を目標に、本市施策に反映させていきたいと思えます。

編集後記

全国的に大きな問題となっている学校でのいじめ問題。12月議会でも各会派から質問が集中しました。

本質的な解決には教育現場だけでなく、私たちの社会のあり方そのものを模索する必要があるとあります。学校、地域、家庭の関係をどのように再構築していくか。協働の時代にあって、古くて新しい重要な課題です。

また、編集委員会では、昨年に長野市議会の取り組みを視察しました。

日々の議会活動や議会での議論をよりわかりやすく掲載し、市民の皆さまが市政への参画意識をさらに高めていただけるよう、委員一同努力してまいります。
(岡崎)

